

< GDPとGNPの違い >

$$\begin{aligned} \text{国民総生産} &= \text{国内総生産} + \text{海外からの要素所得受取} - \text{海外への要素所得の支払} \\ &= \text{国内総生産} + \text{海外からの純要素所得} \end{aligned}$$

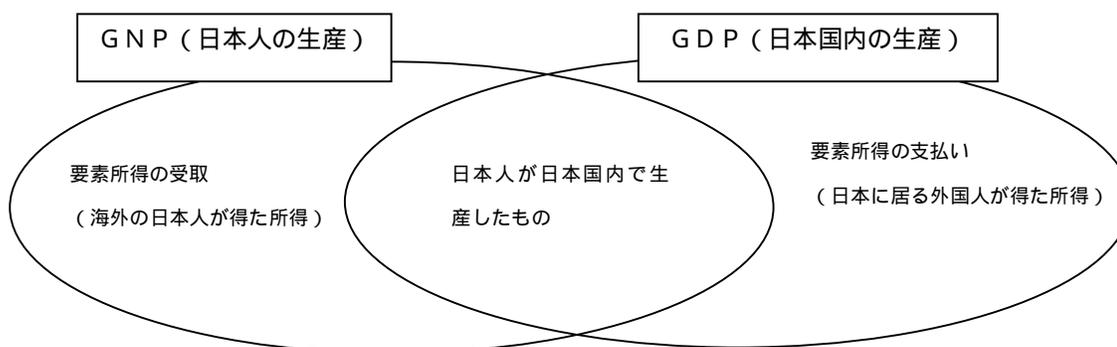
GDP は、外国人でも日本人でも日本国内にいる人が生産した量（地理的）

GNP は、外国にいても、国内でも、日本人が生産した量（人的）

要素所得 労働や資本を使って得られた所得。給料と考えていい。

（例）海外のミュージシャン GDPとGNPの差は日本ではそれほど大きくない。

GDPなどの言葉の組み合わせ



< 純の概念 >

$$\text{国民純生産} = \text{国民総生産} - \text{固定資本減耗 (資本減耗引当、減価償却)}$$

$$\text{国内純生産} = \text{国内総生産} - \text{固定資本減耗 (資本減耗引当、減価償却)}$$

純 = 純粋な生産額。磨耗した設備の価値を差し引く。

総 = 固定資本減耗を差し引かないもの。

固定資本減耗 工場や建物で、磨り減ってしまった部分

< 国民所得の概念 >

$$\text{国民所得} = \text{国民純生産} - \text{間接税} + \text{補助金}$$

政府活動で市場価格が影響されている部分を除く。

間接税 商品の価格の中に税金がはいっているもの。消費税など。

補助金 政府が企業などにお金を補助するもの

< GDP の統計上の問題 >

GDP は、原則として市場で取引したものを合計して計算する。

市場で売買されない政府サービス、余暇、環境、主婦労働、親からの遺産は国民経済計算に含まれない。

例外

帰属計算 = 市場で取引されていないものを、あたかもしているように表す。

持ち家の帰属家賃 = 持ち家を持っている人が家賃を払っているとみなして GDP は計算する。

国民所得の概念のまとめ

